

2021 スポーツ振興センターFD活動報告 スポーツ科学実習アンケート結果

2020年と比較して

授業内容について

- 2021年のスポーツ科学実習Ⅰは対面のガイダンスから始まった。対面はガイダンスのみですぐに遠隔授業に切り替わり、前期はすべて遠隔授業が行われた。
- 2021年のスポーツ科学実習Ⅱは遠隔授業から始まり、授業期間の1/2を過ぎてから対面授業に切り替わった。（看護、農学、経済は遠隔授業を継続）
- アンケートの集計は対面授業を行った学部学科と、遠隔授業のみを行った学部に分け比較した。
- 比較対象として2020年のスポーツ科学実習Ⅱ（対面、遠隔を選択できるハイブリッド）を用いた。

評価

- スポーツ科学実習Ⅱの遠隔授業のみのグループの傾向は、すべて遠隔授業で行われたスポーツ科学実習Ⅰとほぼ同じグラフの形を示した。特に”コミュニケーション”、”友人作り”、”リーダーシップ”の部分では対面授業のグループに比べかなり低い結果となった。
- 対面授業を行ったグループは意欲も高く、大学でのスポーツ実習科目の必要性も高かった。コロナ感染対策の項目を除きすべての項目で遠隔授業のポイントを上回った。総合的に見て満足度は平均4点満点中3.70であり、ほとんどの学生が満足していると思われる。
- 遠隔授業のグループの満足度は対面授業に比べると低いが、平均3.33と遠隔教材が適正であったと思われる。

- 2021年の遠隔授業のみのグループはI、IIとも2020年のスポーツ科学実習II（ハイブリッド）の結果と比べて満足度は低かった。
- すべての授業形態の中で、対面授業を実施した2021年のスポーツ科学実習IIが一番満足度は高かった。
- 各学部学科の自由記述コメントは対面・遠隔授業とも肯定的な内容がほとんどであった。

2021スポーツ科学実習アンケート結果

